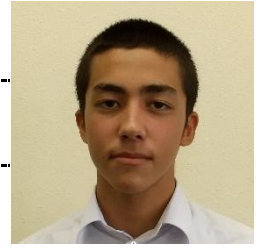


題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。



鹿沼市立南摩中学校 (氏名) 増山 怜紗

私が考えたことは、戦時中の人々の苦しさと、その後も長く続く被害です。被爆体験講話で話を聞いて、様々なことを学びました。そして今も差別や後遺症が残っていると聞いてとても驚きました。このようなことを二度と再発させないために自分にできることは少ないかもしれないけど、周りの人にこのことを伝えるなど自分にできる少ないことを全力で取り組みたいです。また、自分だけではこのくらいしか考えつくことができないけど一緒に行った仲間の意見もきいて、学びを広げていきたいと思いました。ありがとうございました。

題名 ロシアのウクライナ侵攻に対して考えること。

鹿沼市立南摩中学校 (氏名) 増山 怜紗

ニュースなどで、ロシアが悪く、ウクライナがかわいそうみたいに報じられていますが、私はそうは思いません。2国間で争いが起きている以上どちらにも罰がかけられるべきだと思います。ロシアがウクライナに侵攻しているのは何か正義を守るためであり、ウクライナもひいてしまっただけで正義が守られないので対立がおこっています。そもそも対立が起きてしまった時点で、解決するのは話し合いか、武力しかありません。話し合いで解決するほど簡単ではないので、武力で解決するしかないと考えます。

題名 今日ある日本の平和について考えること。

鹿沼市立南摩中学校 (氏名) 増山 怜紗

一言でいうなら“感謝”です。何に対しての感謝かというと、昔の過ちから学び“戦争してはいけない”という心を受け継いでいる人たちに対してです。その心を受け継いでいるからこそ、今不自由なく生きていれるのだと考えます。先人たちのすばらしい行動を次は私たちが次の世代の人たちに受け継がなくてはならないと思います。そして、それを受け継ぐさいはより強くしなくてはならないです。二度と悲劇を繰り返さないために、自分のできる最善を尽くしたいです。

題名 あなたにとって「平和な社会」とは何か、「平和な社会」を実現するために必要なこと。

鹿沼市立南摩中学校 (氏名) 増山 怜紗

私にとって「平和な社会」とは、みんなが夢に向かって十分に走れることです。戦争などが起こっている時は、経済的や物理的にも夢へ走れる状況ではありません。しかし、夢に向かって走れている今の私は平和だと言えると思います。では全員が夢に向かって走っていると言えるのでしょうか。世界には走れていない人がいます。その人たちが思うように走れるためには核をなくし、世界が一体となる必要があります。一体となり、SDG sをおもに解決していく必要があると思います。